

2012年7月20日

私の大切な息子、吉川慎之介（5歳）は溺死しました。

愛媛県西条市にある「学校法人ロザリオ学園 西条聖マリア幼稚園」による「お泊り保育」が「石鎚ふれあいの里」で実施され、その前を流れる加茂川で行われた「水遊び」中に川の水が増水し、数名の子ども達と流された慎之介は水死しました。浮き輪やライフジャケットなどの救命装備、準備は何もありませんでした。

このことから見えてきた事実と現実は、

大人達が持つ認識の甘さ、例年の行事だからという慣れ、危機管理体制の不備、大切な命を守るという自覚の無さ、そして事故後の不誠実な対応でした。

ロザリオ学園と先生方は、事故の説明と正式な謝罪について「何もお話しできません」という対応を繰り返し夏休みの間、二学期を通常通り開園することを最優先し、今も責任の所在は不明で、事故の問題は未解決のまま、子供たちを預かり保育しています。

重大な事故が発生しても

私立幼稚園に関し、指導監督する機関がないこと、原因究明と再発防止のための事故調査等を行われないこと相談する機関がどこにもないことを知りました。

慎之介は暗く閉ざされた問題に光を照らしてくれています。

私は母親としてこの幼稚園に通わせた責任を受け止め、この問題と真正面から向き合う決心をしました。  
“悲惨な出来事を繰り返させないためにも”

子供の命を守り育てること。  
それは、大人の使命です。

吉川優子

2013年3月1日